No. 320
2017年1月1日

発　行　日本労働組合総連合会山口県連合会
〒753-0078　山口市緑町3-29　労福協会館３F
TEL 083-932-1123 FAX 083-932-1131
Eメール：rengo-yamaguchi@rengo-y.com
発行人　山　近　和　浩
編集人　高　橋　宏　治

広報
連合山口
http：//rengo-y.com
平成７年５月22日第３種郵便物承認　毎月１日発行　購読料1部15円（組合費に含む）

すべての働く仲間の暮らしの底上げをめざす！



連合山口会長
中繁　尊範



新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げます。

県内景気は緩やかな回復基調とされ、雇用・所得情勢も改善傾向とされていますが、雇用労働者の4割が非正規雇用で、雇用の不安定化と所得格差が拡大しています。

経済の自律的成長と社会の持続性を実現させるためには、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」と「格差是正」が不可欠です。そのためにも、2017春季生活闘争では、賃上げの流れを持続させ、すべての働く者の「暮らしの底上げ」を実現させなければなりません。

同時に、「人間らしい働き方」を実現させることが喫緊の課題です。今、本県では「やまぐち働き方改革推進会議」が設置され議論が進められていますが、職場環境の改善は労働組合の本来的な使命です。労働組合のない職場へと波及させていくためにも、労働組合にしか成し得ない役割と責任を改めて認識し、通年的な取り組みを推進していくことが重要です。

そして、もう一つ大切なのは組織力・発信力の強化です。雇用や生活の将来に対する不安が渦巻く中で、「社会の不条理に立ち向かい、職場や地域で頼りになる存在」としての連合運動が求められています。同時に、働く者や生活者の立場に立った政治の対抗軸の確立も重要です。年明け解散・総選挙とも噂されていますが、今こそ、本来の民主主義を取り戻し、私たちが求める政策を実現させなければなりません。そのためにも、明確な対抗軸を広く世論に訴え、社会的うねりをより高めていくことが重要です。皆さん、「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」への積極的な参画をお願いします。

厳しい時こそ、連合運動の真価が問われます。「働くことを軸とする安心社会」を実現させるためにも、連合運動の価値を共有し合い、地域から共感の輪を広げるべく行動を、ともに展開していきましょう。

新しい年が皆様にとって幸多き年でありますよう、心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

もくじ　p1 会長新年あいさつ　p2 年頭あいさつ、山口県知事・山口労働局長　p3 特集「働き方改革」　p4 女性委員会第1回幹事会・労働相談キャンペーン・青年委員会第27回総会　p5 関連団体新年あいさつ　p6 連合山口HP紹介・新春お年玉クイズ・2017政策研究フォーラム講師紹介



「活力みなぎる山口県」の実現をめざして

山口県知事
村　岡　嗣　政

明けましておめでとうございます。

連合山口の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

中繁会長さんをはじめ連合山口の皆様方には、平素から、県政の推進に格別のご理解とご協力を賜っており、また、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、勤労者・生活者の立場からの建設的な政策提言や、労働相談等の「地域に根ざした顔の見える運動」を積極的に推進しておられるところであり、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

今年は、県政運営の指針である「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」の最終年度を迎えます。これまでの取組により、１２３に及ぶプランの目標に向け、順調に成果が上がりつつあります。今後も、目標の達成や達成水準のさらなる向上を図るとともに、県民誰もがはつらつと暮らせる「活力みなぎる山口県」の実現を目指して、全力で取り組んでまいります。

労働分野においては、地域経済の活性化に向け、県内産業を支える人材を確保するためには、働きやすい環境づくりや魅力ある雇用の場の確保が重要であることから、県では、貴会の参画も得て、昨年８月に「やまぐち働き方改革推進会議」を設立したところであり、今後とも、関係機関と連携しながら本県独自の働き方改革を積極的に推進することとしています。

また、いよいよ来年に迫りました「明治150年」という記念すべき節目に向けて、日本の近代化を成し遂げた先人たちの志と行動力に改めて学び、直面する人口減少問題など、現代の困難に立ち向かっていく力強い機運を、「明治維新胎動の地」である山口県から盛り上げていきたいと考えています。

今年は「酉（とり）年」です。誰よりも早く夜明けを告げる「鶏」のように、私自身が常に先頭に立って、県づくりに全力で邁進してまいりますので、県民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いします。

連合山口の皆様にとりまして、今年が素晴らしい年となりますことを心からお祈りいたします。



県民一人ひとりが職場で活躍するために

厚生労働省山口労働局
局　長　小松原　正俊

新年明けましておめでとうございます。

中繁会長をはじめ、連合山口の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。旧年中は、労働行政の推進に当たり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、最近の県内の雇用情勢は、景気が緩やかに回復している中、有効求人倍率が1.43倍、正社員求人倍率は初めて1.02倍となるなど、着実に改善が進んでいる状況にあります。この機を捉え、より一層、正社員求人の確保に努め、一人でも多くの若者、女性、高齢者及び障害者の方々が正社員として就職できますよう取組を推進して参ります。

また、本年１月に改正育児・介護休業法が全面施行されました。改正の趣旨は、子育てや介護など家庭の状況により、勤務に制約を抱えている労働者の方の休業等を取得しやすくするものですが、改正内容の周知啓発等を図ることにより、仕事と家庭の両立支援を一層進めて参りたいと考えております。

さらに、労働者が充実して働き続けるためには、職場が安全であること、労働者が健康であることが重要です。このため、労働時間管理など適正な労働条件が履行確保されるよう監督指導を的確に実施するとともに、業種に応じた労働災害防止対策を講じながら、昨年にも増して積極的な取組を進めていく所存ですので、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、連合山口の益々のご発展と皆様方のご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



働く者の目線で「働き方改革」を！
～長時間労働撲滅でハッピーライフを実現させよう～

政府による「働き方改革」の論議が進められている中、長時間労働が社会問題となっています。今月号では、「働き方改革」の現状や課題、長時間労働の是正に向けた連合の取り組みについて、お伝えします。

Q. 昨年９月、安倍総理を議長とする「働き方改革実現会議」（以下、「実現会議」）が設置されました。「働き方改革」が前進しているかのようなイメージを持ちますが、実際はどうなの？

A. 安倍政権が「働き方改革」に着眼するのは、日本の人口動態から必然です。少子・高齢化社会のなかでは、生産年齢人口が減少していくので、一人ひとりの労働生産性をどう高めるかは、社会の持続可能性を担保していくうえでは、まさに政治課題です。ただ、実現会議の構成をみると、労働者側からは連合の神津会長しかおらず、ほとんどが使用者側で、何よりも過労死や長時間労働の改善を求めている声が高まっているにも関わらず、実現会議では議論の段階です。

Q. 大手広告代理店の20代の女性社員が月100時間を超える時間外労働の末、自殺したことが労災認定され、大きく報じられたことにより、過労死や長時間労働が社会問題となっています。これらの問題に対して、連合はどのような取り組みをしているの？

A. 連合はかねてから、36協定による労働時間の延長に上限を設けることやインターバル規制の導入（始業後24時間を経過するまでに、一定時間以上の継続した休息時間の付与を義務化する）、労働時間管理の強化などを訴え、政党への働きかけを行ってきました。その結果、昨年4月には、これらの内容を踏まえた「長時間労働規制法案」が民進党など野党４党により提出されました。さらにこの法案は、大手広告代理店における女性社員の労災認定を受け、違法な時間外労働に対する処罰強化を追加し、再提出されました。しかしながら、政府・与党は、審議を拒み続けています。

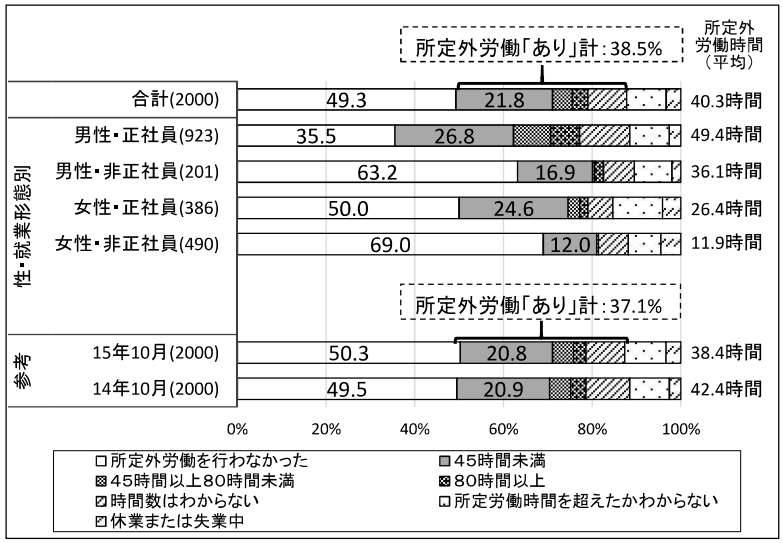
この他、昨年12月には長時間労働の是正をテーマに、全国一斉なんでも労働相談ダイヤルを実施。2017春季生活闘争では「長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を！」をスローガンに掲げ、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）社会の実現に向けて取り組みます。

Q. 山口県でも村岡知事を会長とする「やまぐち働き方改革推進会議」が昨年８月に設置されました。この推進会議に連合山口は、どのように関わっているの？

A. 推進会議では、山口県内の人材の定着・環流をはかり、若者や女性の県外流出に歯止めをかけ、ワーク・ライフ・バランスの推進、長時間労働の是正、女性の活躍促進などに関する山口県独自の「働き方改革」を推進することを目的に論議が進められています。連合山口からは、中繁会長が委員として、山近事務局長が幹事として参画し、働く者・労働団体の立場から、積極的に意見提起しています。

平均所定外労働時間は40.3時間
～ 45時間超えは28.9% ～

■2016年９月の所定外労働時間（性・雇用形態別）



（注1）管理職（課長クラス以上）も含めた集計
（注2）表中の「所定外労働時間（平均）」は、「所定労働時間を超えて働いた」（所定労働時間「あり」と回答した者の所定外労働時間数の平均値
（注3）（　）内は、回答者数（N）

連合総研の調査では、2016年９月に所定外労働時間（残業および休日出勤）を行ったとする割合は38.5%であり、その平均所定外労働時間は40.3時間であった。特に男性正社員は、53.0%が所定外労働を行い、所定外労働時間の平均は49.4時間におよんでおり、長時間労働が多くみられる。

連合山口女性委員会第１回幹事会開催

～ 役員体制や活動計画を確認 ～

連合山口女性委員会は、12月14日に第１回幹事会を開催した。議事では、まず、役員体制を確認し、女性委員会委員長には、引き続き、河村典子氏（自治労）が就任することとなった。その後、2017年度の活動計画について確認し、2017年度の新たな取り組みとして、男女平等参画推進会議と連携した「男女平等参画推進セミナー」の開催に向けて準備を進めて行くことを確認した。

新年度も連合山口女性委員会は、女性の参画と組織の連帯を促進し、女性に関する政策・制度の改善と、男女平等の職場・家庭・社会づくりを進めることを目的に活動を展開する。

【連合山口女性委員会役員】

役　職	氏　名	出身産別
委員長	河村　典子	自治労
副委員長	海井由紀美	JP労組
事務局長	吉永　香	全労金
事務局次長	藤井　昭子	連合山口
幹事	林　和恵	基幹労連
〃	萩岡　朱美	電力総連
〃	瀬古　梨江	電機連合
〃	能美　善江	情報労連
〃	伊藤あゆみ	国公総連

連合

STOP! 長時間労働

～あなたの働き方は大丈夫？～

～全国一斉労働相談を実施～

連合は、12月6日～7日、長時間労働の問題をテーマに、全国一斉労働相談を実施した。この2日間で連合山口において受けた相談件数は12件で、そのうち最も多かった相談は、労働時間に関する内容（5件）であった。この中には、「毎月100時間超えの時間外をしている」「毎日深夜に帰宅している」など長時間労働に関する相談もあり、大塚労働相談アドバイザーを中心に相談者に対してアドバイスを行うなどの対応を行った。

今後も連合は、働く人の応援団として、相談内容をしっかりと受け止め、社会に発言していくとともに、職場の問題解決に向けて取り組む。

相談無料　秘密厳守　携帯スマホOK

上記期間以外でも、常時受付しております。

労働に関するお悩みは…まずは連合に相談！

なんでも労働相談ダイヤル

0120-154-052（いこうよ　れんごうに）

「次代を担うリーダーの育成」と「青年ネットワーク網」の構築に向けて

～青年委員会第27回総会開催～



▲挨拶をする河村裕幸委員長

連合山口青年委員会は12月10日、山口市において代議員など総勢28名の参加のもと「青年委員会第27回総会」を開催した。

議事では、①仲間づくり・ネットワークづくり②組合活動への理解と参画へのきっかけづくり③組織運営を通じた「次代を担うリーダーの育成」の3つの方針に則った2017年度活動方針（案）および活動予算（案）について論議を行い、満場一致で承認された。

また、役員選出（案）では、新役員での体制を確認し、青年委員長には、引き続き、河村裕幸氏（基幹労連）が就任した。

総会の最後に河村委員長は「新年度開催するリーダー研修会が、充実した内容となるよう青年委員会役員が一致団結して企画・運営を行っていく。」と決意を述べた。

【連合山口青年委員会役員】

役　職	氏　名	出身産別
委員長	河村　裕幸	基幹労連
副委員長	永堀　達也	電機連合
〃	上符　紗季	自動車総連
事務局長	今井　裕樹	JP労組
事務局次長	橋本　正汰	JEC連合
幹事	三國真莉奈	自治労
〃	中村　竜也	JEC連合
〃	瀬田　彩乃	基幹労連
〃	南　佳希	電力総連
〃	花田　真人	情報労連



▲青年委員会役員の皆さん

年頭ご挨拶



一般社団法人 山口県労働者福祉協議会
会長 中繁 尊範

労働者福祉運動の基盤強化と運動の拡大を！

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、労福協の諸活動に対しますご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。

さて、勤労者を取り巻く環境は、雇用の不安定化と所得格差の拡大などにより、貧困の連鎖が深刻なものとなっており、今、多くの若者が奨学金の返済に苦しみ、結婚や出産、子育てにも大きな影響を与えています。若者の未来を支え、持続可能な社会とするためにも、今こそ、格差や貧困の連鎖に歯止めをかけ、奨学金制度の改善を実効あるものとしていかなければなりません。

また、昨年も全国各地で自然災害が発生するなど、災害等に対する「備えの大切さ」を改めて認識させられました。働く者の「雇用と暮らしを守り抜く」ことは労働組合の原点であり、労働者相互扶助と福祉の向上は労働運動の基本です。そのためにも、労働組合と福祉事業団体が「ともに運動する主体」であることを再認識し、労働者自主福祉運動の基盤強化と運動の拡大につなげていかなければなりません。

山口県労福協としましても、〝生活あんしんネット〟、〝しゅうなん若者サポートステーション〟、〝パーソナル・サポートセンター（PS）やまぐち〟などの支援事業を継続しています。今後も、福祉事業団体や行政・NPO組織等との連携をより一層強化し、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会」の実現に向け、暮らしの総合支援を始めとする労福協運動を積極的に推進してまいります。

本年も、山口県労福協に対します一層のご支援をお願いするとともに、新しい年が皆様にとって幸多き年でありますよう、心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



謹んで新春のお慶びを
申し上げます



本年もいっそうのご愛顧を
いただきますようお願い申しあげます。
2017年 元旦



中国労働金庫山口県営業本部
本部長　杉本　郁夫
役職員一同

はたらく人の、
生活応援バンク
ろうきん

謹んで
新春のお慶びを
申しあげます
本年もどうぞ
よろしくお願いいたします



全労済山口県本部
（山口県共済生活協同組合）
本部長 中野 威
役職員一同



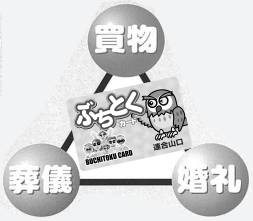
新年あけまして
おめでとうございます



本年も皆様方の
ご多幸を祈念いたします
株式会社　冠婚葬祭こころの会
代表取締役　小林　篤夫

婚礼・葬儀・買物の３つの特典が受けられます





謹んで新春のお慶びを申し上げます
雇用なくして
社会保障なし、
暮らしの底上げ実現
本年もよろしくお願いいたします。



山口県退職者連合
会長 升田 正通
役員一同



連合山口ホームページを活用しよう！

お知らせ
- 日々の活動をいちはやくお知らせしています。
- 広報バックナンバーも掲載中！

連合山口　検索

http：//rengo-y.com/





Facebookも随時更新中！
フォローよろしくお願いします。

2017政策研究フォーラム講師紹介



北川正恭氏

と　き：１月18日（水）15時30分～
ところ：ホテルかめ福（山口市）
講演内容：『地方創生をどう進めるか』

略　歴

生年月日：	昭和１９年１１月１１日生まれ	
昭和４２年	３月	早稲田大学卒業
昭和４７年１２月		三重県議会議員当選（３期連続）
昭和５８年１２月		衆議院議員当選（４期連続）
平成　７年	４月	三重県知事当選（２期連続）
平成１５年	４月	早稲田大学大学院公共経営研究科教授 就任
平成１５年	７月	「新しい日本をつくる国民会議」（21世紀臨調）代表
平成１５年		2003日本新語・流行語大賞 受賞語『マニフェスト』
平成１６年	４月	早稲田大学マニフェスト研究所設立・就任
平成２３年		相馬市復興会議　顧問
平成２５年		長野県政策研究所　チーフアドバイザー
		新潟州構想検討推進会議　顧問
平成２７年	４月	早稲田大学 名誉教授

新春 お年玉クイズ

全問正解者には QUOカードプレゼント

1. 2016年の干支は丙申（ひのえさる）。では、2017年の干支は？
2. 新しく発見された原子番号113の元素
3. 現在の山口県最低賃金
4. 昨年12月15日に来県したロシア大統領
5. 連合が導入を断固反対している労働時間とは関係なく成果で賃金が決まる制度
6. 働くときに必要な法律や決まりを身につけられる検定制度
7. リオデジャネイロオリンピックで日本が獲得した金メダルの数は？
8. 昨年10月26日、連合山口が村岡知事に対して行った要請は8分野○項目
9. 現在、連合が展開しているキャンペーンは「クロシノソコアゲ応援団」

回答用紙

1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.　　9.

－ハガキに貼ってお出しください。－

クイズの答えと、住所、氏名、組合名、電話番号、連合山口・広報へのご意見・ご要望を記入の上、連合山口までメール・FAXまたは郵送でご応募下さい。※正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

FAX 083-932-1131
メール rengo-yamaguchi@rengo-y.com
郵送 〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館３F
〆切 2017年1月20日（金）

連合山口カレンダー【１月】

18日　第2回執行委員会
　　2017政策研究フォーラム
　　2017新春旗びらき
19日　民進党山口県連との定期協議



地協連絡先

県央地域協議会
〒745-0071 周南市岐山通2-10 周南市役所仮庁舎別館内
TEL：0834（21）0768 FAX：0834（21）0290

東部地域協議会
〒740-0013 岩国市桂町2-6-1 こども館内
TEL：0827（22）0160 FAX：0827（22）0161

西部地域協議会
〒750-0001 下関市幸町8-16 下関市勤労福祉会館内
TEL：083（222）0869 FAX：083（223）9428

中部地域協議会
〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3階
TEL：083（902）1811 FAX：083（932）1131